

今週のビルマのニュース
2010年10月15日【1038号】

アウンサンスーチー氏、投票を拒否

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と12日に面会した弁護人によれば、氏は総選挙で投票するつもりはない。軍政が発表した選挙関連法の下では禁固刑に服している人に投票権はないが、氏に関しては軍政が投票を認めていた(12日共同ほか)。

タイ首相がビルマを訪問 選挙支援断られる

・タイのアピシット首相が11日にビルマを訪問し、軍政トップ・タンシュエ上級大将やテインセイン首相と会談した。会談ではビルマ南部ダウエーでの港湾建設を共同で推進することなどで一致。またアピシット首相は総選挙実施の支援を申し出たが、軍政側はこれを断ったとのこと(12日AP、日経)。

「第三国定住」第二弾の難民9人が来日

・「第三国定住制度」により、タイのメーラ難民キャンプから日本が受け入れるカレン民族難民27人のうち、出発を延期していた9人が13日、日本に到着した(13日時事ほか)。

アムネスティが前原外相宛の署名を提出

・アムネスティ・インターナショナル日本は13日、山花郁夫外務大臣政務官と面談し、前原外相宛の署名(2308筆)を提出した。署名は、総選挙実施にあたり基本的人権の保障や全政治囚の釈放等を軍政が行うよう、より一層の外交努力を政府に求めるもの。山花政務官は、現状のままでの選挙の実施は遺憾であり、政治囚の釈放などの主張を継続する、人道に対する罪に関する国連調査委員会設置については慎重に検討したいなどと述べた(15日アムネスティ)。

国連事務総長「軍政は約束を果たしていない」

・国連の潘基文事務総長が国連総会に提出するビルマの人権状況についての報告書の内容が明らかになった。報告書で事務総長は、人権状況等が改善していないことを遺憾とし、全政治囚を遅滞なく解放するよう軍政に求めた。また基本的人権が保障されないうちで選挙を実施すれば選挙の信用性が著しく傷つけられる可能性があるとして述べた(報告書 A/65/367)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

注目の記事

ウー・シュエバ(田辺寿夫さん)の最新エッセイ
「雨季は明けたか？」
<http://www.burmainfo.org/>

イベント情報

・国際シンポジウム「日本における難民保護の課題」青山学院大学大学院国際政治経済学研究所 GLEP 主催 パネリストに在日ミャンマー(ビルマ)難民が参加「日本で難民として暮らすということ」(青山学院大学青山キャンパス14号館総研ビル12階、17日10時~16時半)★要申込

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「ビルマ、ラカイン(アラカン)州からの所見」講師:リチャード・ハンフリーズ氏(大阪ボランティアセンター、20日19時~)

・ビルマ僧アシンターワラ師の対話集会 in 名古屋 主催:日本ビルマ問題を考える会 大隅良務(名古屋市女性会館、23日18時~)

・アムネスティ創立40&50周年記念キャンドルキヤラバン in 水戸 ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・ココラット氏講演会 アムネスティ水戸グループ主催(水戸市あむねすみと2Fハングルアカデミー、24日13時)

・『声なき難民の声をきく連続セミナー:日本社会をみつめる難民-今秋スタートする「第三国定住」を問う』アムネスティ・インターナショナル日本主催 第1回「第三国定住の功と罪-ビルマ難民の現況」講師:中尾恵子氏(日本ビルマ救援センター)、マ・テンテンウー氏(ビルマ難民)(31日14時~、専修大神田キャンパス7号館731教室)★要申込

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165